

# 市内循環バスについて

## <目次>

### 第1 武蔵砂川駅前広場への乗入れについて

- 1 武蔵砂川駅前広場の整備 …P 1
- 2 現在までの整備に伴う運行ルート及び停留所の現況 …P 2
- 3 整備完了後の運行ルート及び停留所について …P 2
- 4 今後のスケジュール …P 3

### 第2 武蔵砂川ルートにおける遅延状況について

- 1 調査のフロー …P 4
- 2 遅延の状況 …P 4
- 3 今後の対応 …P 4

### 第3 市内循環バスの利用実績

- 1 平成25年度以降の市内循環バスの利用実績と課題 …P 5

### 第4 市内循環バスの利用促進について

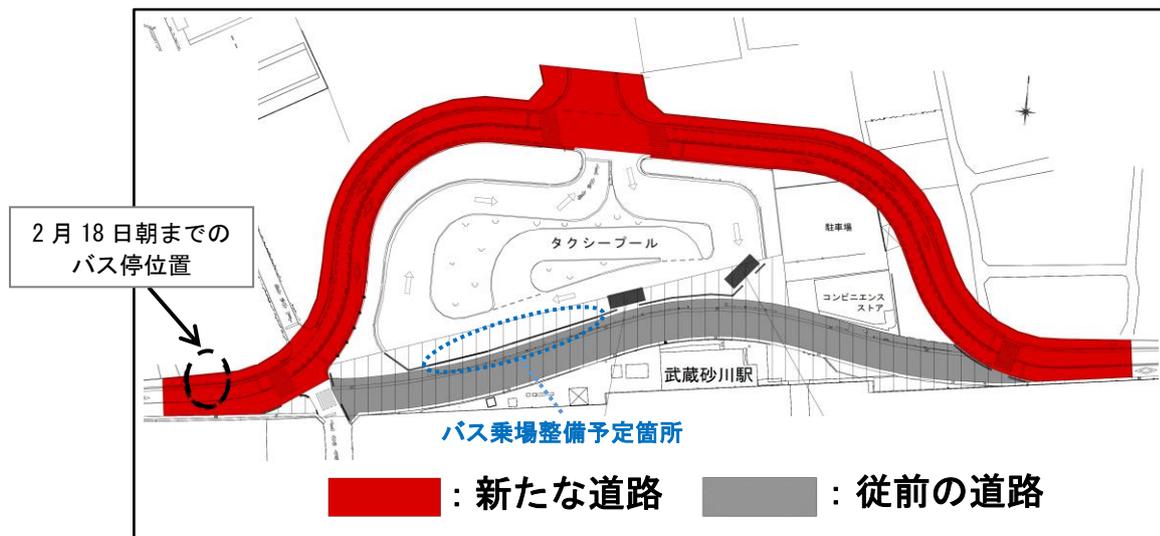
- 1 平成30年1月開催の地域公共交通会議において示した利用促進策 …P 6
- 2 昨年度新たに実施した利用促進策 …P 6
- 3 今年度新たに実施予定の利用促進策 …P 7

## 第1 武蔵砂川駅前広場への乗入れについて

### 1 武蔵砂川駅前広場の整備

現在、武蔵砂川駅前では、立川市による駅前広場整備が進められている。駅の改札前に車両の乗入れが可能なロータリーを設け、それを取り囲む新たな外周道路が設けられる計画となっており、本年秋頃に完成見込みとのことである。現在までに、外周道路とロータリー内の施設の一部が完成し、ロータリー内へは一般車両とタクシーのみ乗入れが行われている。

【整備の現況概略図】



※ 出典：立川市ホームページ



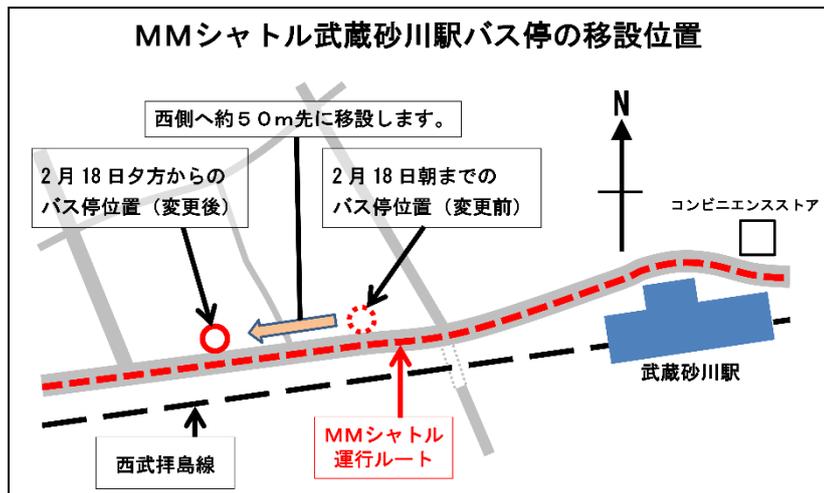
※ 出入口付近から南西方向を撮影

## 2 現在までの整備に伴う運行ルート及び停留所の現況

当該整備では、平成31年2月18日に、従前の道路が廃止され、新たな道路が供用開始された。このことに伴い、現在、武蔵砂川ルートは、新たな道路上を運行している。

また、武蔵砂川駅停留所の位置は新たな道路のカーブの直前に位置していたが、交通安全上の支障が生じることから、当該停留所を従前の位置から西側約50mの位置に移設している。

【停留所移設の位置図】



## 3 整備完了後の運行ルート及び停留所について【協議事項】

- ① 新停留所で折返し運行を行うルートへの変更
- ② 駅前広場のロータリー内への武蔵砂川駅停留所の新設

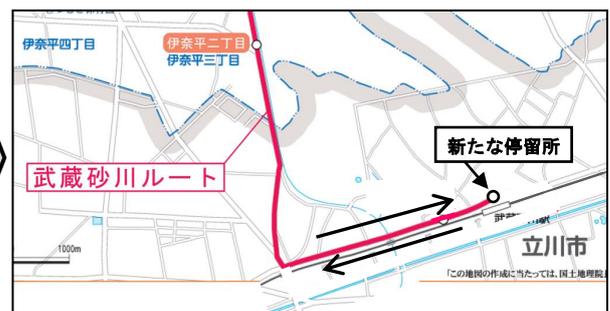
武蔵砂川駅前広場のロータリー内には、現在、一般車両及びタクシーのみの乗入が可能となっているが、整備が完了した際には、ここにバス乗場が整備される予定である。

利用者の利便性や安全性の向上や定時性の確保等に資すると考えられることから、当該ロータリー内に整備される予定のバス乗場に武蔵砂川駅停留所を移設し、また、当該ロータリーでの折返し運行を行うこととしたい。

【現行ルート】



【変更後のルート（案）】



#### 4 今後のスケジュール

現時点において予定している今後のスケジュールは次のとおり。

##### 【現時点のスケジュール】

令和元年5月23日	警視庁交通部交通規制課との協議開始
5月29日 (本日)	地域公共交通会議における停留所位置及び運行ルート変更についての協議
6月～7月頃	警視庁交通部交通規制課による実査（ロータリー内のバス車両の通行） 運行事業者による運輸局への運行ルート変更申請
9月頃	ロータリー内への停留所新設 市報・市ホームページ等による周知
10月頃	新たな停留所及び運行ルートによる運行開始

## 第2 武蔵砂川ルートにおける遅延状況について

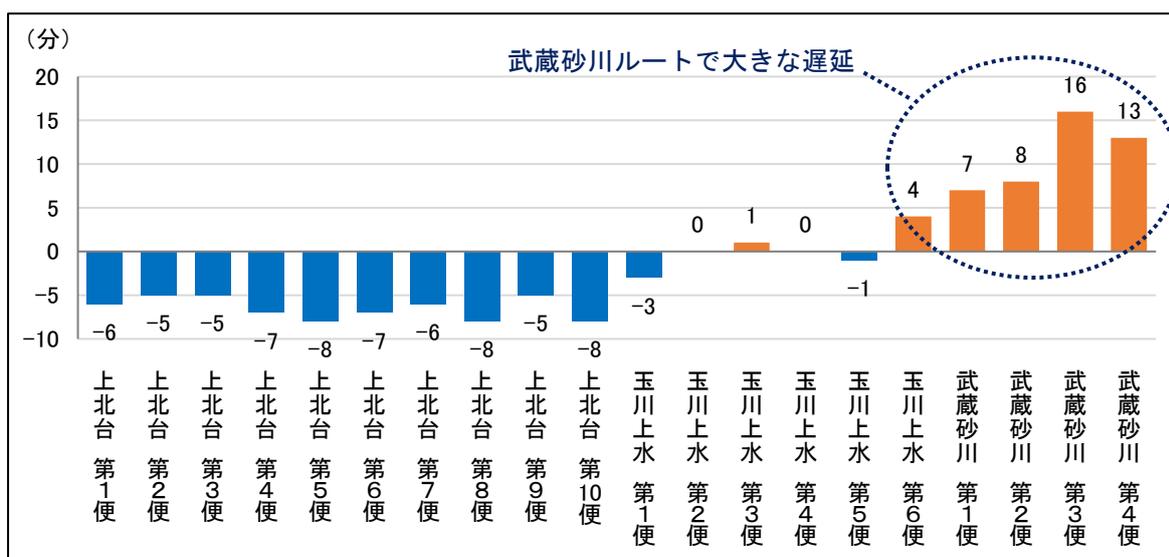
### 1 調査のフロー

別添資料1のとおり

### 2 遅延の状況

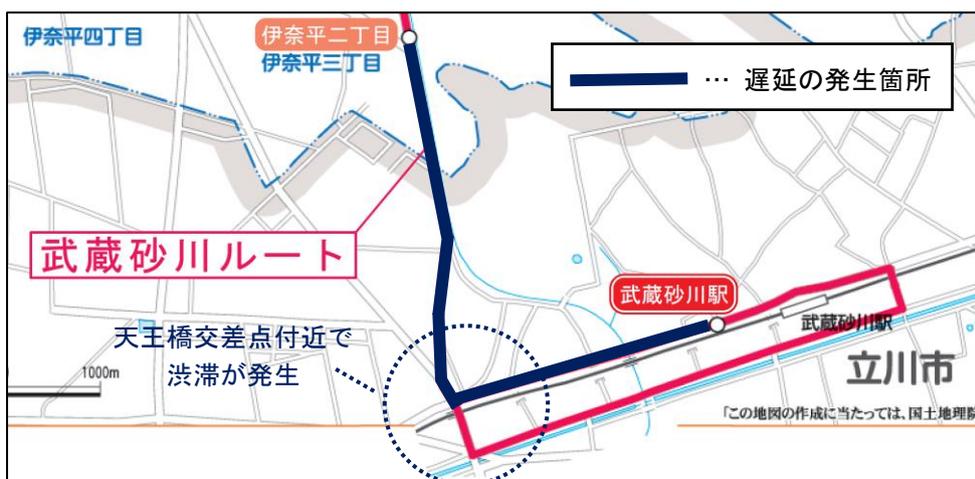
平日：午前、武蔵砂川ルートの上り路線で恒常的かつ大きな遅延が発生している。

【到着時刻の比較】（平日：午前、上り路線、終点における実際の到着時刻と予定時刻の差）



\* 遅延が生じても折り返し便の出発時刻に影響が生じないように、終点の予定到着時刻は5～8分程度の余裕を持って設定されている。

### 【遅延の発生箇所等】



### 3 今後の対応

今後、渋滞が頻繁に発生する区間を通らないルートへの変更について関係機関等と検討・協議する。

### 第3 市内循環バスの利用実績

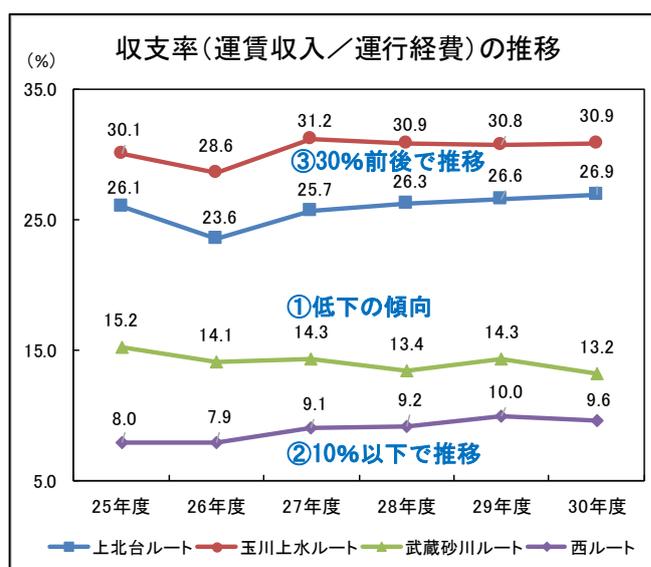
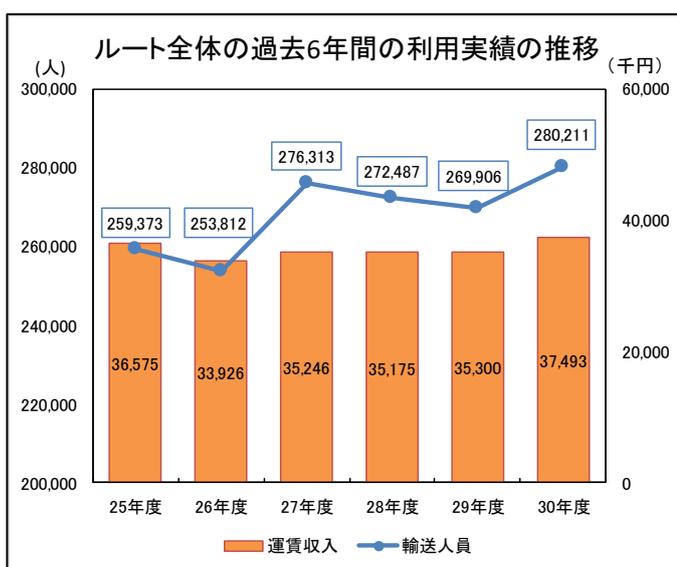
#### 1 平成25年度以降の市内循環バスの利用実績と課題

市内循環バスは、平成25年4月に実施した運行ルート等再編から6年が経過し、各ルートとも利用者数は概ね安定している。

一方、個別の運行ルートを見ると、武蔵砂川ルート及び西ルートは、低い利用率及び収支率で推移しており、このうち武蔵砂川ルートの利用率及び収支率は低下の傾向を示している。

【平成25年度～平成30年度における利用実績】

	上北台ルート			玉川上水ルート			武蔵砂川ルート			西ルート			ルート全体		
	輸送人員 (人)	運賃収入 (千円)	収支率 (%)												
25年度	119,297	16,822	26.1	107,829	15,205	30.1	17,732	2,500	15.2	14,515	2,046	8.0	259,373	36,575	23.3
26年度	113,580	15,181	23.6	107,872	14,418	28.6	17,333	2,317	14.1	15,027	2,008	7.9	253,812	33,926	21.7
27年度	123,712	15,779	25.7	117,665	15,007	31.2	17,563	2,241	14.3	17,373	2,217	9.1	276,313	35,246	23.6
28年度	124,396	16,057	26.3	114,703	14,808	30.9	16,194	2,089	13.4	17,194	2,219	9.2	272,487	35,175	23.6
29年度	122,911	16,075	26.6	111,768	14,618	30.8	16,861	2,206	14.3	18,366	2,400	10.0	269,906	35,350	24.0
30年度	129,442	17,319	26.9	116,318	15,563	30.9	16,176	2,164	13.2	18,275	2,445	9.6	280,211	37,493	23.9



【各ルートの課題等】

ルート	課題等	対応の方向性
①武蔵砂川ルート	○収支率が低下傾向 ○収支率が10%前後で推移	○武蔵砂川駅ロータリーでの折返し運行 ○渋滞発生区間を通らないルートへの変更
②西ルート	○収支率が10%以下で推移	○むらタクの運行範囲拡大とともに廃止を検討 (西武立川駅ロータリーへの路線バス乗り入れの検討)
③上北台ルート 玉川上水ルート	○収支率が30%前後で推移	○利用促進策の実施

## 第4 市内循環バスの利用促進について

### 1 平成30年1月開催の地域公共交通会議において示した利用促進策

- |   |
|---|
| ① 土休日に親子又は子供のみで市内循環バスを利用する際の割引制度の企画       |
| ② 小学校等でのモビリティマネジメントの企画                    |
| ③ 市民まつり（村山デエダラまつり）における子供向けPR活動の実施（従来から実施） |
| ④ 小学生等を対象とした市内循環バススタンプラリー等の企画             |

### 2 昨年度新たに実施した利用促進策（小学生以下の児童を対象としたクイズラリー 1-④）

平成29年度に検証した市内循環バスの利用状況（土休日の利用率が平日の半数程度であること）等を踏まえ、小学生以下の児童を対象としたクイズラリーを開催することとした。

なお、本取組の参加対象は児童のみであるが、年少者については保護者が同伴するケースが多いと考えられるため、子育て世代の親等に対する利用促進の効果もあると考えている。

#### (1) 概要

開催期間：平成30年8月1日～10月28日まで

対象者：小学生以下の児童

周知方法：○市ホームページ

○8月1日号市報

○市内循環バス車内広告（7月31日～10月30日まで）

○市内小学校の全児童への案内チラシ及びクイズ台紙の配布（約4,500枚）

○J:com（ケーブルテレビ）のニュースにおいて放映（8月31日）

参加賞：「MMシャトルを応援してね」メッセージ入り色鉛筆（12色）

参加方法：市内循環バス車内若しくは市ホームページからクイズ台紙を入手して参加

※クイズ台紙の裏面にはバスの乗り方及びマナー、簡易アンケートを記載

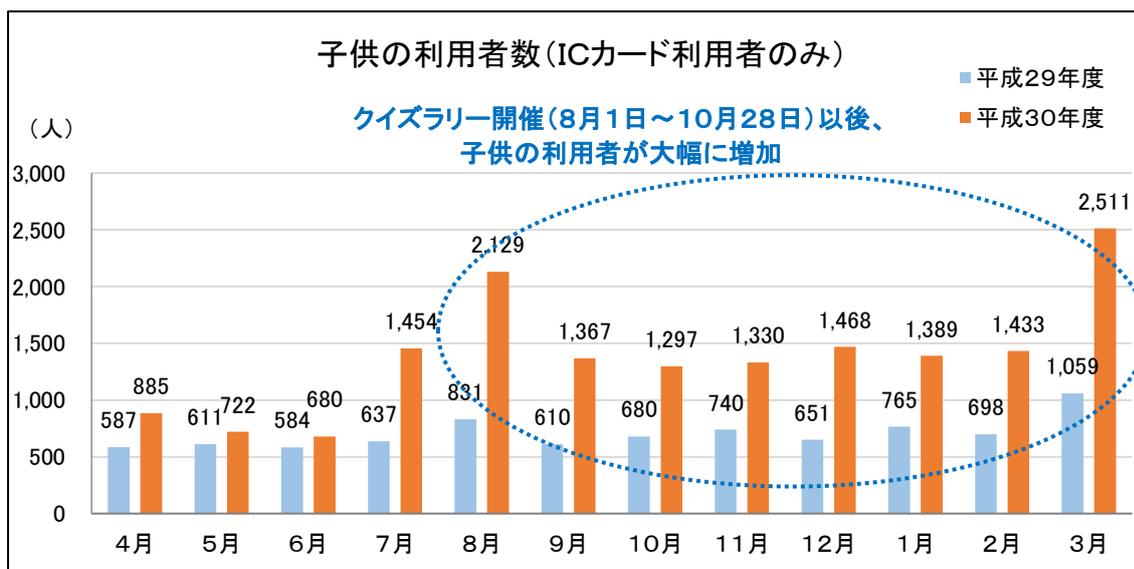
#### (2) クイズラリー参加の流れ

1	クイズ台紙のQ1～Q3の答えを記入
2	10月27日、28日に開催される「むらやまデエダラまつり」に出展している「MMシャトル&モノレールでGO!」ブースにクイズ台紙を持参
3	「MMシャトル&モノレールでGO!」ブースでQ4に回答すると参加賞をプレゼント

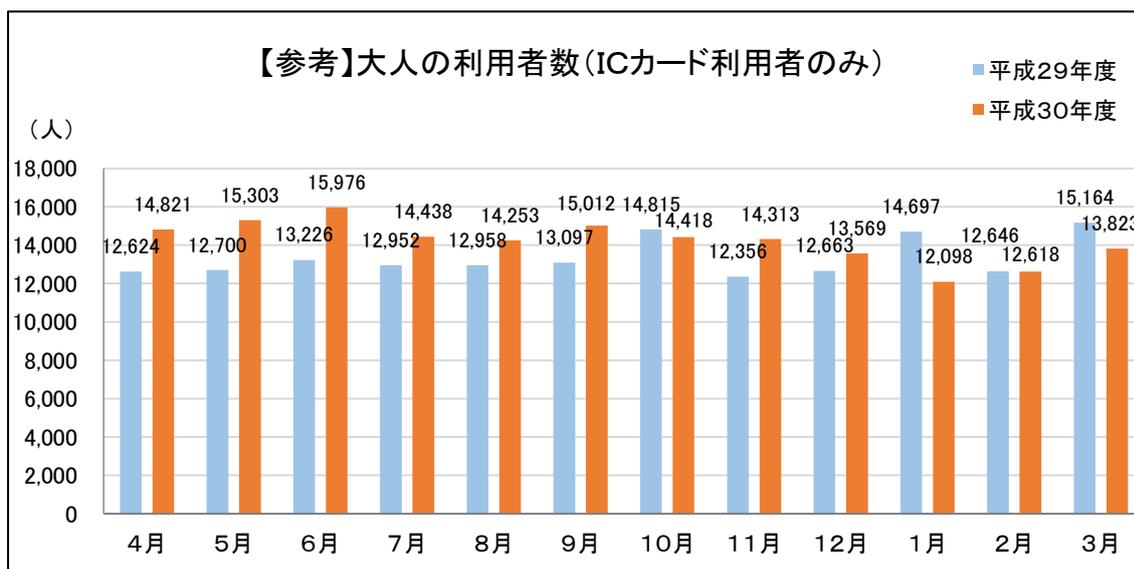
#### (3) 参加者数（デエダラまつりにクイズ台紙を持参した人数）

台紙入手方法	人数
MMシャトル車内	1人
市ホームページ	2人
小学校での配布	31人
合計	34人

(4) 利用者数の比較 (H29→H30)



- ・クイズラリー開催(8月1日～10月28日)以後、子供の利用者が対前年度比約2倍に増加
  - 〔8月～10月：126.0%増
  - 〔11月～3月：107.8%増
- ・大人の利用者数が減少した月がある中で、子供の利用者は毎月増加



3 今年度実施予定の利用促進策 (小学生を対象とした出前授業の実施 1-②)

- ・小学生にMMシャトルへの関心と理解をより一層高めてもらうことを目的に、モビリティマネジメントの一つとしての出前授業の実施・活用を小学校に周知(参考:別添資料2)
- ・昨年度より参加者が増えるよう、クイズの内容や周知方法の見直しを図り、引き続きクイズラリーを実施